

発展途上国のビジネスグループ

小池賢治・星野妙子編

発展途上国のビジネスグループ

小池賢治・星野妙子編

アジア経済研究所

研究双書 No. 435
小池賢治・星野妙子編『発展途上国のビジネスグループ』

英文表題および目次

Title

Hatten-Tojokoku no Bijinesu Gurupu
(Business Group in Developing Economies)

Edited by

Kenji KOIKE
and
Taeko HOSHINO

Contents

- The Materialization of the East Asian Business Group
Kenji KOIKE
(Chapter 1)
Family Business Reassessed : Corporate Structure and Late-Starting Industrialization
in Thailand
Akira SUEHIRO
(Chapter 2)
Ownership and Management of Business Groups in Indonesia : Non-Family Partnership
as the Ties of Organization
Yuri SATO
(Chapter 3)
Financial Groups and Privatization of Banks in Mexico
Taeko HOSHINO
(Chapter 4)
"Zaibatsu" and Business Groups in Korea : A Note on the Development
of Korea Capitalism
Takao TANIURA
(Chapter 5)
Philippine Business Groups under Marcos-Akino Regime
Kenji KOIKE
(Chapter 6)
Business Groups in Pakistan : A Study on Their Origins and Development
Ichiro YAMANAKA
(Chapter 7)
A Note on the Business Companies in Nigeria
Yoshio MUROI

[Kenkyū Soshō (IDE Research Series) No. 435]
Published by **the Institute of Developing Economies**, 1993
42 Ichigaya-Honmura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

発展途上国のビジネスグループ

こいけ けんじ
小池 賢治 (アジア経済研究所地域研究部)

すえひろ あきら
末廣 昭 (東京大学社会科学研究所)

さとう ゆり
佐藤 百合 (アジア経済研究所地域研究部)

ほしの たえこ
星野 妙子 (アジア経済研究所地域研究部)

たにうら たかお
谷浦 孝雄 (新潟大学経済学部)

やまなか いちろう
山中 一郎 (アジア経済研究所地域研究部)

むろい よしお
室井 義雄 (専修大学経済学部)

—執筆順—

発展途上国のビジネスグループ

研究双書435

1993年7月30日発行©

定価3811円 (本体3700円)

編者 小池賢治/星野妙子

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

発売所 アジア経済出版会

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)1640

FAX 東京(3357)0435

振替 東京 5-143692

印刷所 メディカ・ピーシー

ISBN4-258-04435-0 C3033



定価3811円(本体3700円)

ISBN4-258-04435-0 C3033

目 次

まえがき

総 論——多角化の新展開と所有経営構造の変化——	小池賢治	3
はじめに		3
第1節 1980年代後半以降の工業化とビジネスグループ		4
第2節 ビジネスグループの所有と経営		8
1. 所有		10
2. 経営		13
第3節 ビジネスグループの課題		15
第1章 タイの企業組織と後発的工業化		
——ファミリービジネス試論——	末廣 昭	27
第1節 問題の所在		27
1. ファミリービジネス・財閥・ビジネスグループ		27
2. 経営者支配論と華僑ネットワーク論		28
3. 視角と構成		31
第2節 ファミリービジネス論の視角		32
1. 家族資本主義論		32
2. 関係ネットワーク論と家族経営論		33
3. 中国の伝統的企業組織——「合股」と「合夥」——		36
4. ファミリービジネスと後発的工業化		39

5. ファミリービジネスと蓄積様式論	40
第3節 ファミリービジネスの現状	42
1. タイ大企業の所有形態	42
2. タイ大企業の経営形態	45
3. タイ財閥の所有と支配	48
第4節 ファミリービジネスの事業多角化	51
1. グループ化・事業多角化の経済学	51
2. 事業多角化(1)：生産・市場関連の多角化	53
3. 事業多角化(2)：後発性の条件	55
4. 事業多角化(3)：ファミリービジネスと 世代交替	57
第5節 結語	63
第2章 インドネシアにおける企業グループの所有と経営 ——「パートナーシップ型」企業グループを 中心に——	佐藤 百合 73
はじめに	73
第1節 企業グループの所有と経営	75
1. 企業グループの所有構造	75
2. 企業グループの経営構造	81
3. 「家族型」企業グループと「パートナーシップ型」 企業グループ	86
第2節 「パートナーシップ型」企業グループの実態	88
1. ジャヤ・グループ	89
2. サリム・グループ	100
3. バンク・バリ・グループ	104

4. 「パートナーシップ型」組織の意義	108
第3節 「パートナーシップ型」企業グループの変化	111
1. 3グループの事例	111
2. 「パートナーシップ型」企業グループの分裂と ネットワーク化	115
むすび	117
第3章 メキシコにおける金融グループの形成と 発展	星野妙子 129
はじめに	129
第1節 銀行の再民営化と金融グループの台頭	131
1. 銀行再民営化の経過	131
2. 落札グループの特徴	134
第2節 3大金融グループの実態	139
1. パナメックス—アクシバル金融グループ	139
2. バムサーバンコメール・グループ	142
3. オブサ金融グループ	148
第3節 1980年代における金融システムの再編	153
1. 国有化後の銀行保有株の売却	154
2. 証券市場の急成長	156
むすびにかえて	159
第4章 韓国の財閥とビジネスグループ ——韓国の資本主義発展に関する一試論——	谷浦孝雄 165
はじめに——韓国の財閥とビジネスグループ——	165
第1節 企業集団形成の要因	166

1.	経済政策の契機	166
2.	金融市場の後進性	168
3.	社会的統合の構造	169
第2節	韓国経済の工業化と財閥の役割	170
1.	企業の役割	170
2.	財閥の役割	172
第3節	財閥の変容	174
1.	財閥の個別論理	174
2.	財閥機能の組織化	176
3.	企業集団の弛緩	178
第4節	企業集団抑制政策	179
1.	反系列政策	179
2.	業種専門化政策	180
第5節	今後の展望	182
第5章	フィリピンの財閥	
	——財閥の政治化現象とその帰結——	小池賢治… 189
	はじめに	189
第1節	ラモス政権成立までのビジネスグループと政治	189
第2節	四つの財閥と三つの政権	195
1.	ロペス財閥	195
2.	ソリアノ財閥	197
3.	アヤラ財閥	201
4.	コファンコ財閥	205
	残された課題——むすびにかえて——	207

第6章 パキスタンにおけるビジネスグループ

——その生成と発展に関する一考察——	山中一郎	213
はじめに		213
第1節 パキスタンにおける産業資本家層の誕生		214
1. 英領インド期のムスリム商業資本		214
2. ビジネスグループとしてのムスリム・		
コミュニティ		215
3. 「建国企業」とビジネスグループ		220
第2節 独立後におけるビジネスグループの発展と変遷		221
1. 独立初期のムスリム商業資本		221
2. 商業資本から産業資本への転化		223
3. ビジネスグループの台頭と官民癒着の構図		225
4. アユーブ政権下の産業資本		227
第3節 東西パキスタン分裂以降の産業資本家層の動向		230
1. Z・A・ブットー政権の登場と社会主義化政策の		
導入		230
2. 主要ビジネスグループのリストとその変化		231
3. Z・A・ブットー政権の社会主義化政策の崩壊		235
4. ズィヤー政権期およびB・ブットー政権期における		
ビジネスグループの再編		236
むすびにかえて——ナワーズ・シャリーフ現政権の民活		
政策とビジネスグループ——		239

第7章 ナイジェリア企業に関するマクロ的考察 ……室井義雄… 245

はじめに		245
------	--	-----

第1節 概 観	248
第2節 外資系企業	252
第3節 政府系企業	256
第4節 民族系企業	261
むすびにかえて	267